

縣下ノ實元勇ニ送達セラレ 勇ハ不審ヲ抱キ急遽上京五日
會社ニ出頭セルニ庶務課ノ小笠原武夫ヨリ勤ハ 暴力団ヲ
以テ包圍シ居リ面會不能ニ付電報ニ依リ連シ出スヨリ方法
ナレト電報案ヲ作成ノ上同入ニ手交シタルヲ以テ 前報ノ
通り柴鴨署宛發信シタルモノト判明 殊ニ實元ノ勇ハ會社
側ノ言フが如ク「暴力団或ハ監禁」云々ノ事實ナキヲ知ル
ヤ勤ノ連行ヲ中止シ其ノ自由意思ニ放任被疑セリ
同シク五日午後十二時頃船員草野五郎宛「熊川ノ母危篤直
グ飯定迄ノ正慶」(豊橋市東田町實母熊川もとノ意)ノ電
報ニ接シ草野ハ四谷區草野町一五ノ養父正慶方ニ飯定シ調
査ノ結果同シク前記ノ通り本社庶務課 小笠原武夫ヨリ指
示セラレタル偽電ト判明セリ

五日午後五時頃船員渡辺祐四郎ノ實元祐一及叔父陸軍少
將遠藤五郎 六日午後十一時頃船員小西能太郎ノ妻久江ハ

何レモ柴鴨署ニ出頭シ是故本部ニ直接行ツラモ暴力団ノ操
ナモノガ嚴重看視附ノ趣ニ付署ニ呼出シ面會方斡旋取計ハ
レタシトノ願出ニ對シ 柴鴨署長ハ 松田道場ニ於ケル
船員ニ對シテハ全然看視附又ハ監禁云々等ノ事實ナク萬一
アリトスレハ嚴重ナル取締ヲ要スルモノデアル 直接訪問
面談セラレタシト基ノ風説ニ對シ懇示シタルニ何レモ自由
ニ面談シ風説ノ如キ監禁云々等ノ事實ナキ旨更ニ柴鴨署ニ
出頭事情ヲ申告セリ

柴鴨署ノ調査ニ依ル本件並ニ前項偽電關係真相ハ別記ノ如シ
四日本主義系諸団体ノ外廓運動狀況
(1) 純正羅新協同青年隊

標記團體影山正治以下三名ハ三月六日午後三時四十五分郵船本
社ヲ訪問和田庶務課長等ト會見昨日訪問ノ際ニハ社長トノ
會見ハ三月八日午後下ノ回答ヲ得タキモ是非今明日中ニ辨